

令和3年度 埼玉青少年の意識と行動調査（概要版）

■調査目的

本県における青少年の生活実態や価値観等を把握し、青少年に関する総合的施策樹立のための基礎資料を得るとともに、調査結果を広く県民に紹介し、青少年健全育成に対する理解と協力を得るために実施する。

■調査設計

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査地域 | 埼玉県全域 |
| (2) 調査対象 | ①令和3年4月1日現在で、満10歳から満14歳までの県内在住の男女 2,000人
②令和3年4月1日現在で、満15歳から満30歳までの県内在住の男女 2,000人
③令和3年4月1日現在で、満31歳から満39歳までの県内在住の男女 2,000人
④調査対象①から③の保護者等 6,000人 |
| (3) 標本抽出方法 | 住民基本台帳を用いた層化二段無作為抽出法 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収・インターネット回収 |
| (5) 調査期間 | 令和3年7月30日（金）～8月25日（水） |
| (6) 調査実施機関 | 株式会社タイム・エージェント |

■有効回収率

- | | |
|----------------------|------------------|
| (1) 満10歳から満14歳までの青少年 | 789件 (39.5%) |
| (2) 満15歳から満30歳までの青少年 | 480件 (24.0%) |
| (3) 満31歳から満39歳までの青少年 | 560件 (28.0%) |
| (4) (1)～(3)の保護者等 | 1,504件 (25.1%) ※ |

※調査対象(2)及び(3)の本人かつ保護者等である回答を含む

■概要版の見方

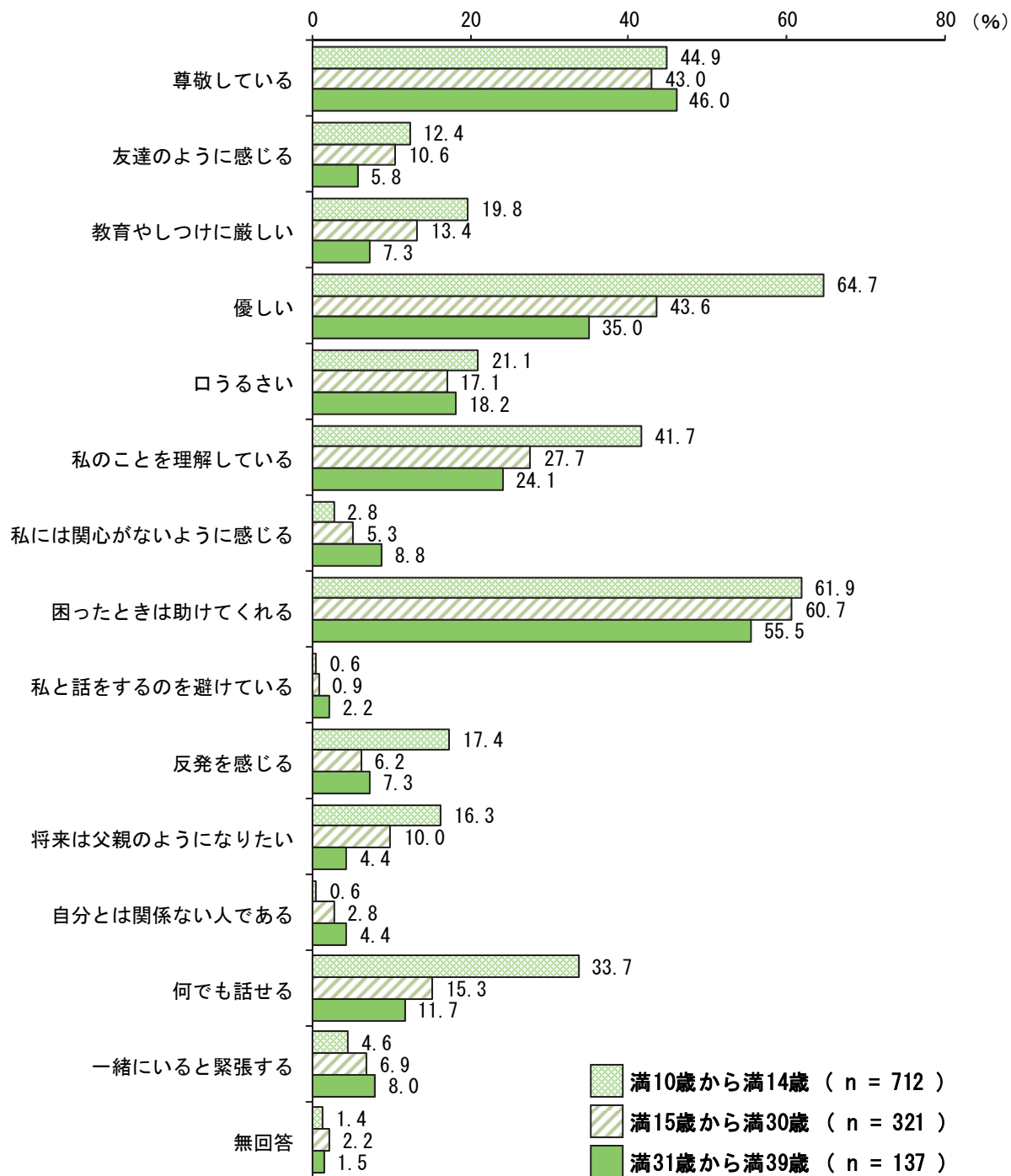
- ①調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- ②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- ③図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。

調査主体 埼玉県県民生活部青少年課
〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1
TEL 048-830-2905 FAX 048-830-4754

令和4年1月発行

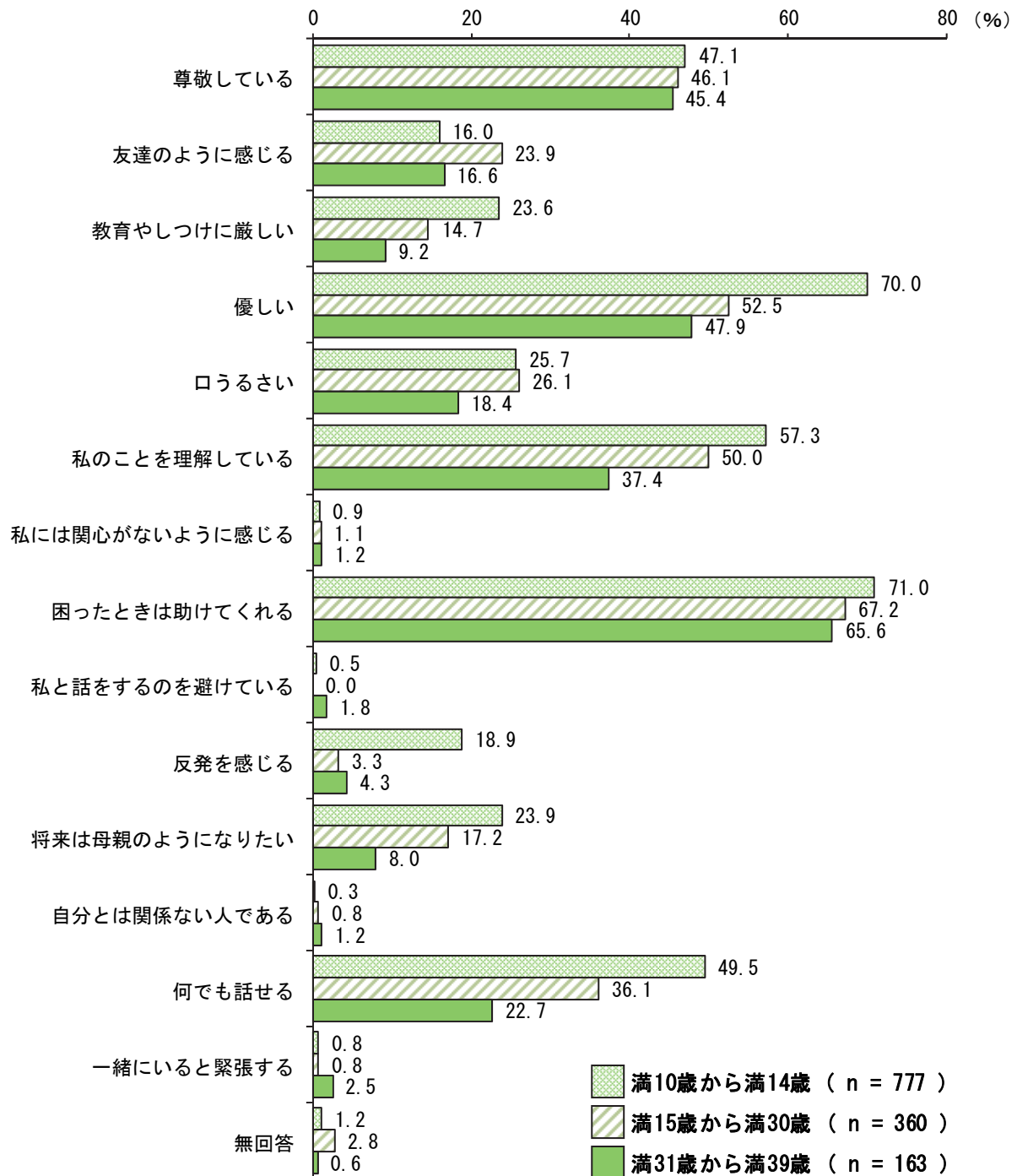
1. 「父親について」感じていること

「父親」に対して感じていることについて、いずれの年齢でも「困ったときは助けてくれる」及び「尊敬している」が高く、かつ、年齢間の差が小さくなっている。一方、「優しい」、「私のことを理解している」及び「何でも話せる」は年齢が高くなるほど、その割合が大幅に低くなっている。



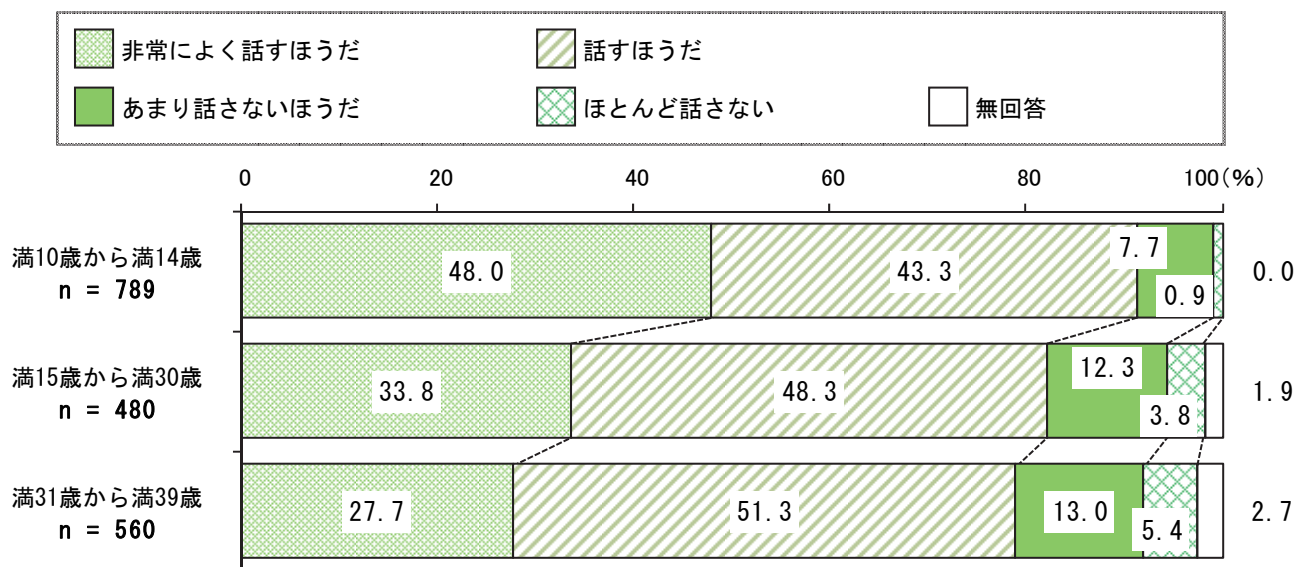
2. 「母親について」感じていること

「母親」に対して感じていることについて、「父親」に対して感じていることと同じく、いずれの年齢でも「困ったときは助けてくれる」及び「尊敬している」が高く、かつ、年齢間の差が小さくなっている。一方、「優しい」、「私のことを理解している」、「将来は母親のようになりたい」及び「何でも話せる」は年齢が高くなるほど、その割合が大幅に低くなっている。



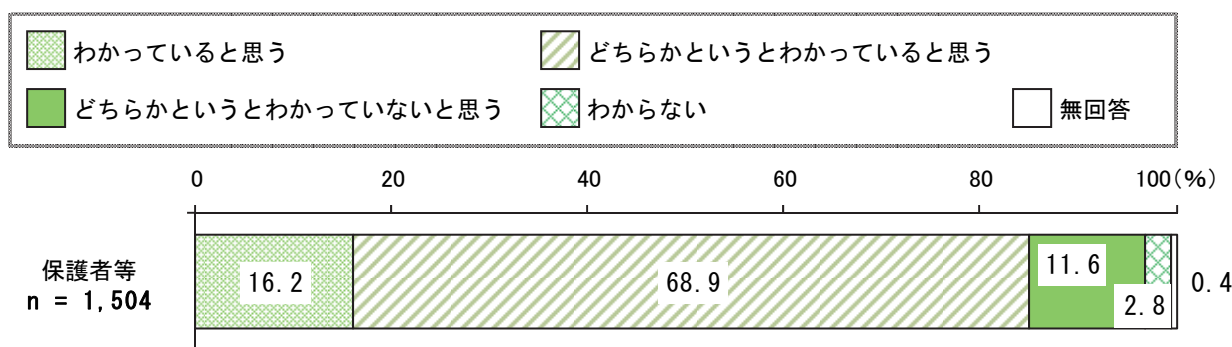
3. 家で話をする頻度

家で話をする頻度について、「非常によく話すほうだ」及び「話すほうだ」は年齢が高くなるほど、その割合が低くなっている。



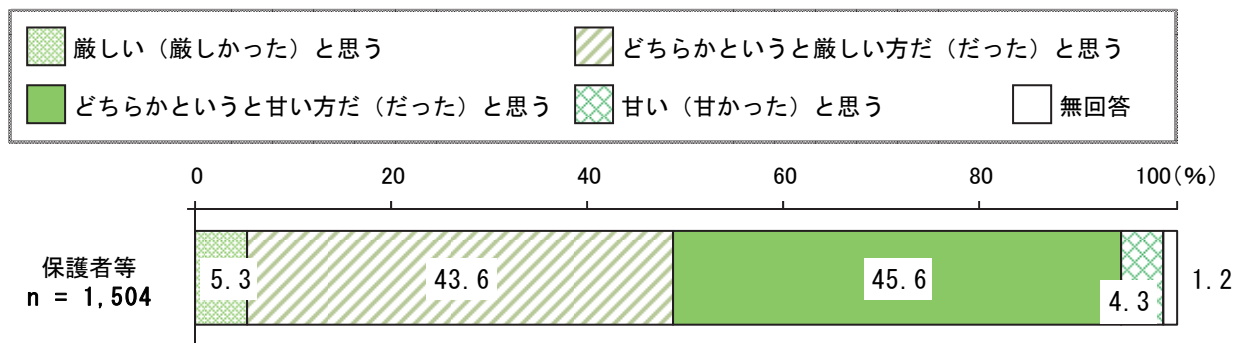
4. 子どもの気持ちの理解度 【保護者等】

子どもの気持ちの理解度は、「どちらかというわかっていると思う」が68.9%となっている。



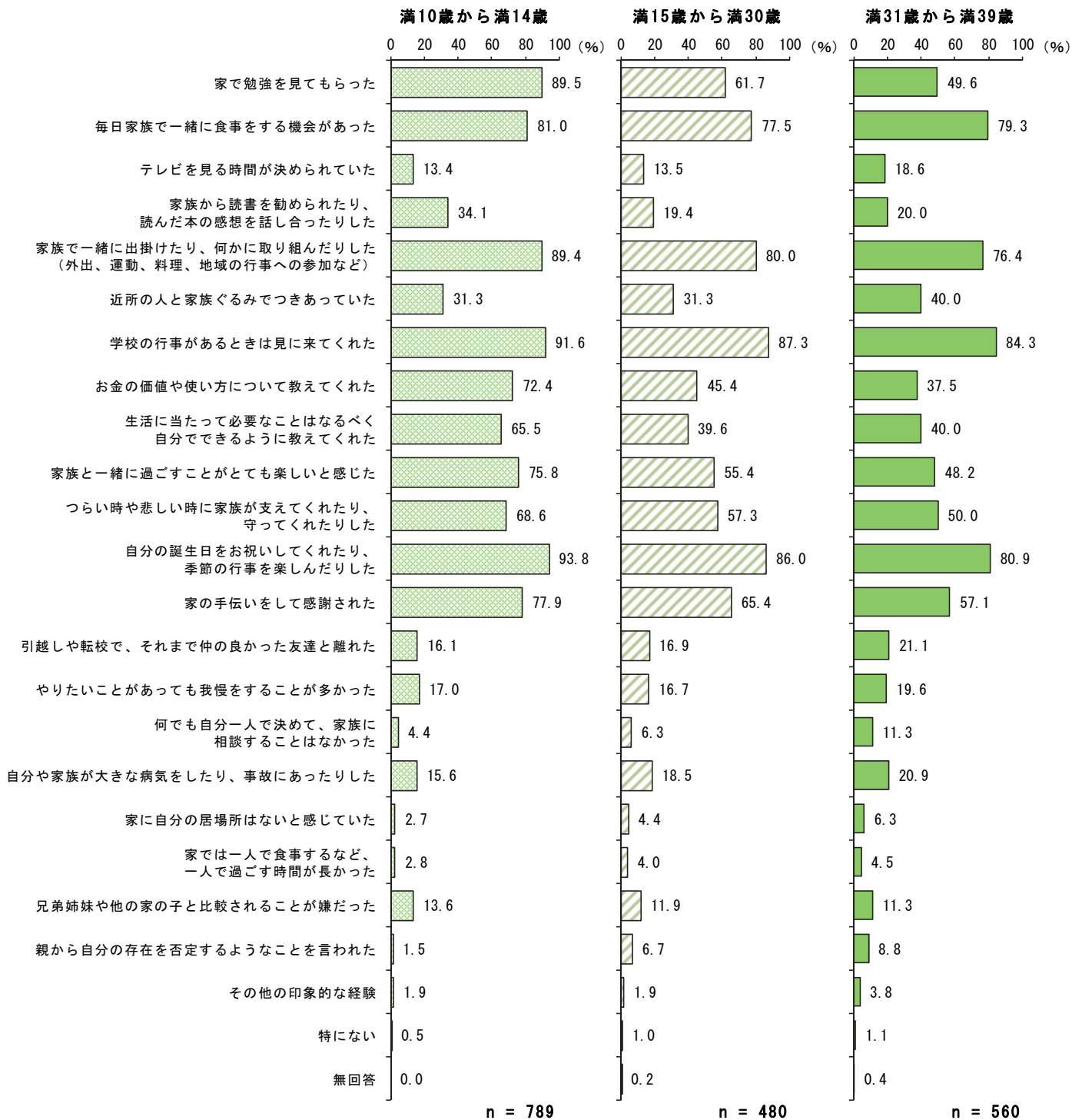
5. 子どもに対するしつけ 【保護者等】

子どもに対するしつけは、「甘い（甘かった）と思う」（4.3%）と「どちらかという甘い方だ（だった）と思う」（45.6%）を合わせた『しつけは甘く』が49.9%、「厳しい（厳しかった）と思う」（5.3%）と「どちらかという厳しい方だ（だった）と思う」（43.6%）を合わせた『しつけは厳しく』が48.9%となっている。



6. 「家庭」での経験

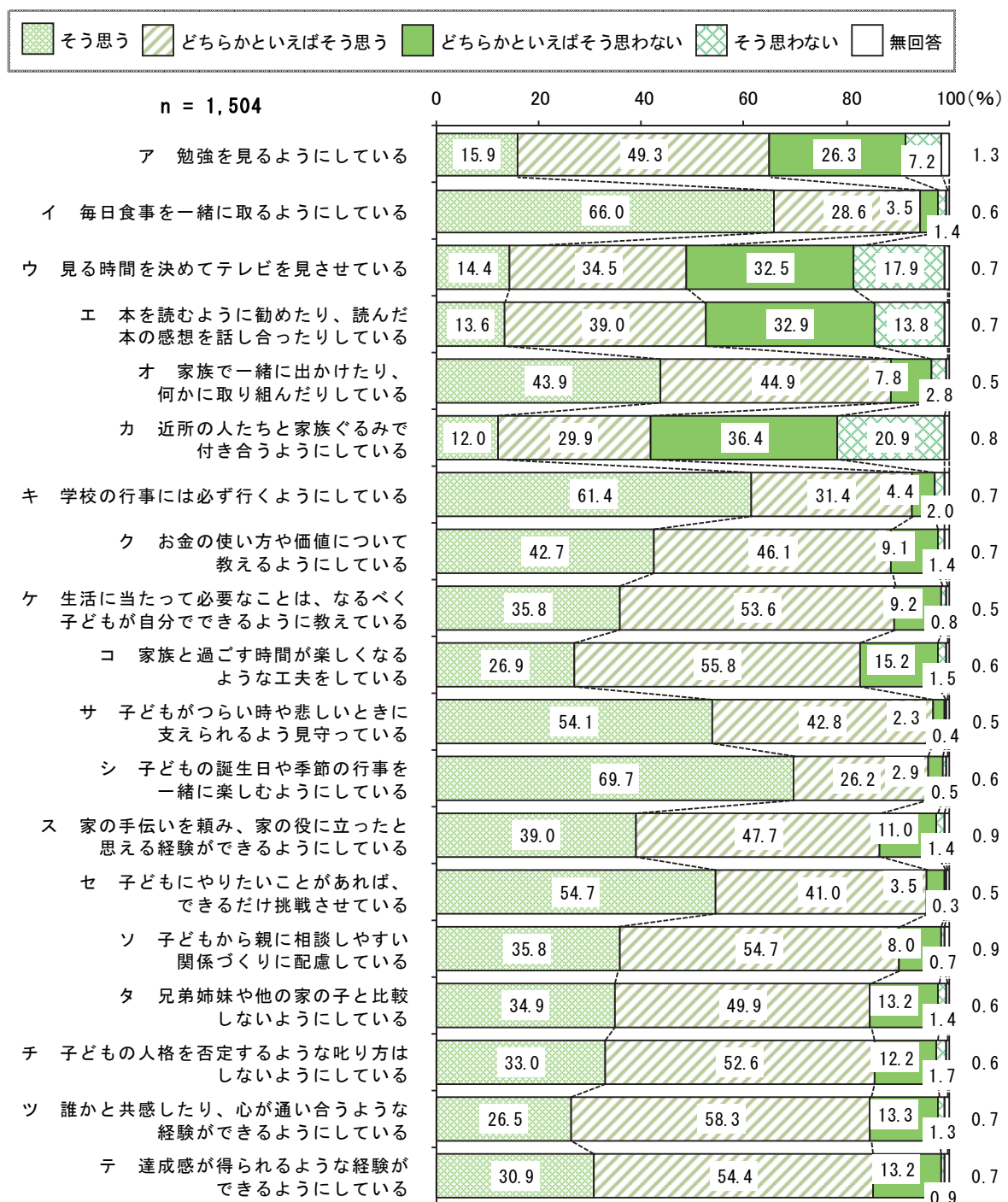
「家庭」での経験について、いずれの年齢も「学校の行事があるときは見に来てくれた」及び「自分の誕生日をお祝いしてくれたり、季節の行事を楽しんだりした」が上位2項目となっている。第3位はそれぞれ【満10歳から満14歳】では「家で勉強を見てもらった」、【満15歳から満30歳】では「家族で一緒に出掛けたり、何かに取り組んだりした（外出、運動、料理、地域の行事への参加など）」、【満31歳から満39歳】では「毎日家族と一緒に食事をする機会があった」となっている。



7. 子育てに当たって心がけていること 【保護者等】

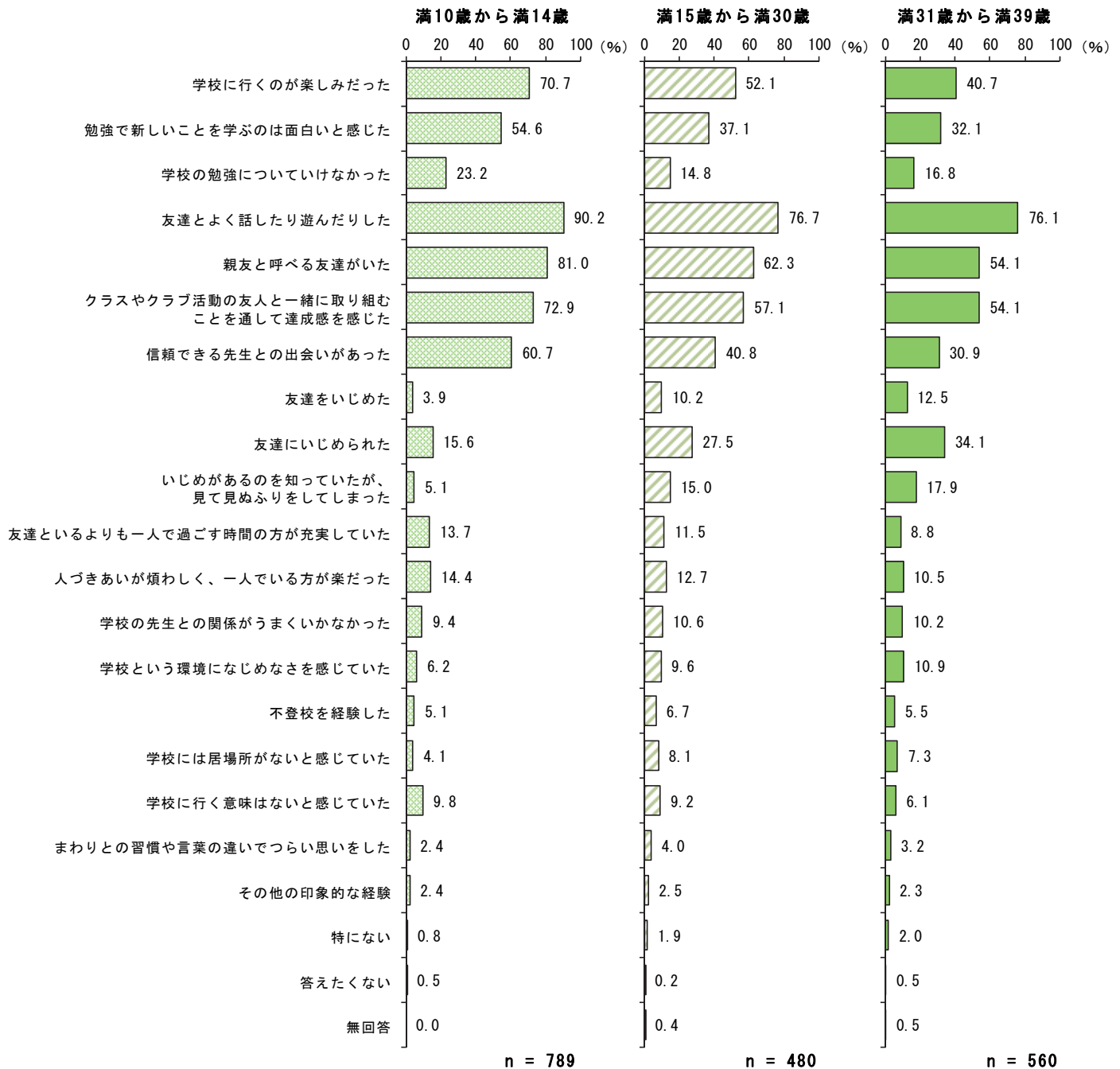
子育てに当たって心がけていることについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[サ 子どもが辛い時や悲しいときに支えられるよう見守っている]が96.9%で最も高く、次いで[シ 子どもの誕生日や季節の行事を一緒に楽しむようにしている]が95.9%、[セ 子どもにやりたいことがあれば、できるだけ挑戦させている]が95.7%、[イ 毎日食事を一緒に取るようにしている]が94.6%、[キ 学校の行事には必ず行くようにしている]が92.8%、[ソ 子どもから親に相談しやすい関係づくりに配慮している]が90.5%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[カ 近所の人たちと家族ぐるみで付き合うようにしている]が57.3%で最も高く、次いで[ウ 見る時間を決めてテレビを見させている]が50.4%、[エ 本を読むように勧めたり、読んだ本の感想を話し合ったりしている]が46.7%、[ア 勉強を見るようにしている]が33.5%と続いている。



8. 「学校」での経験

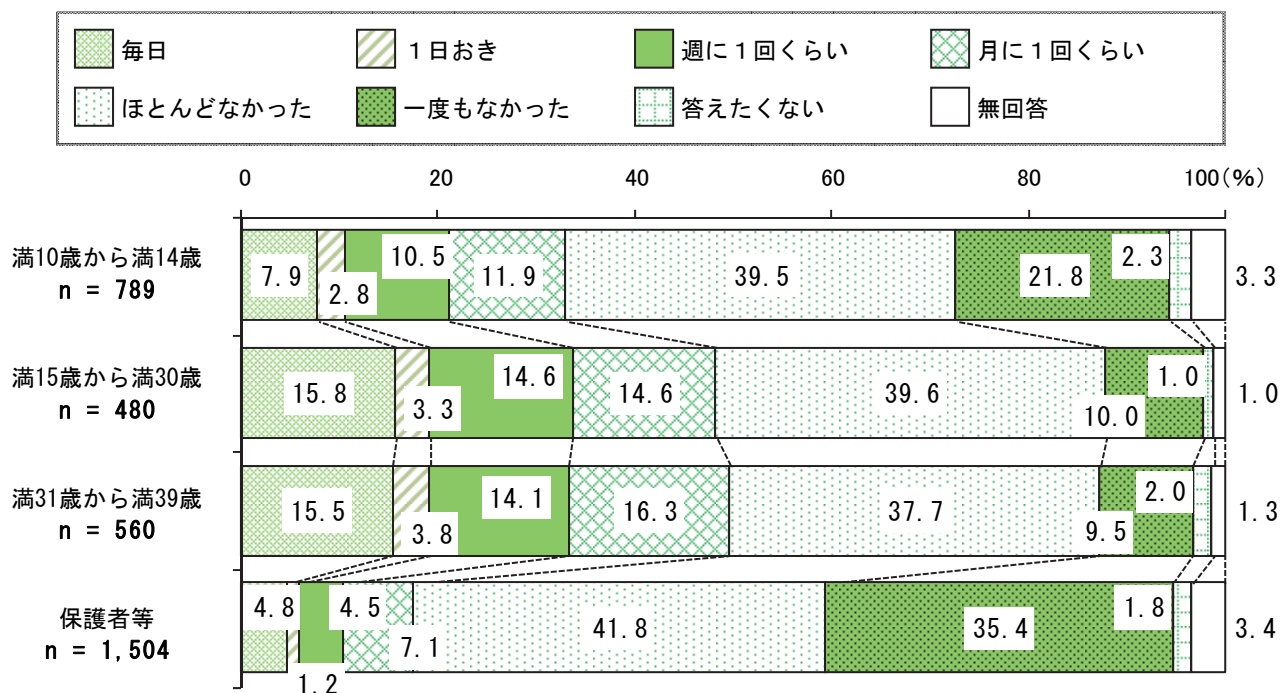
「学校」での経験について、いずれの年齢も上位4までが「友達とよく話したり遊んだりした」、「親友と呼べる友達があった」、「クラスやクラブ活動の友人と一緒に取り組むことを通して達成感を感じた」及び「学校に行くのが楽しみだった」となっている。



9. 「学校に行きたくない」と思った頻度

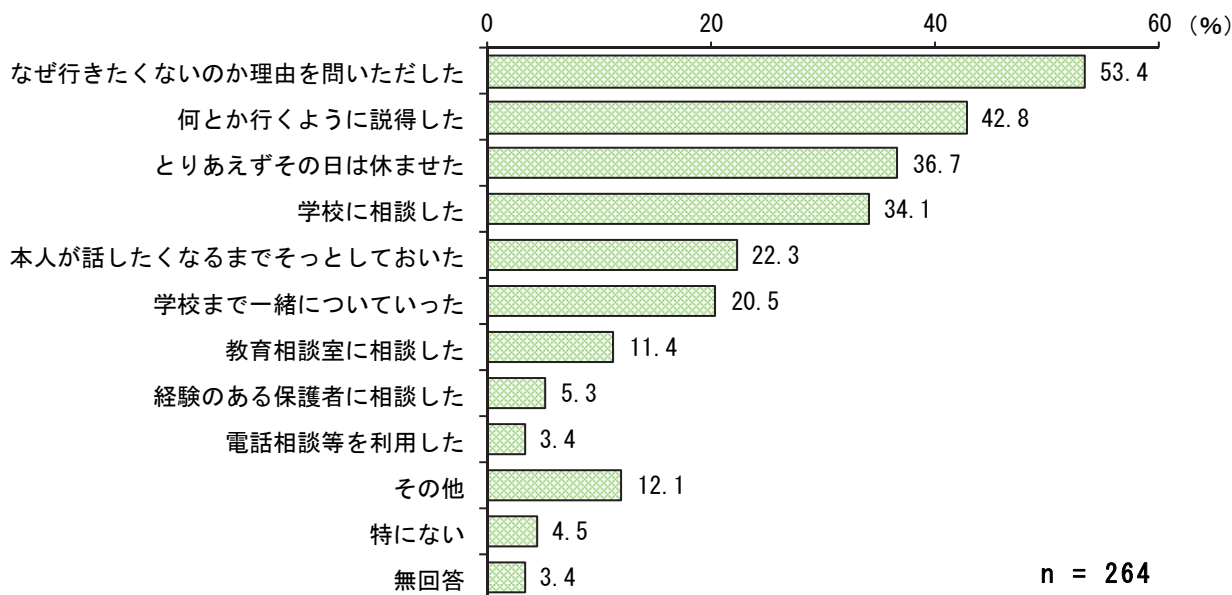
「学校に行きたくない」と思った頻度について、いずれの年齢も第1位が「ほとんどなかった」となっている。しかし、「毎日」と「1日おき」と「週に1回ぐらい」を合わせた『週1回以上』では、【満10歳から満14歳】で21.2%に対し、【満15歳から満30歳】では33.7%、【満31歳から満39歳】では33.4%と高くなっている。

保護者等においては、「ほとんどなかった」が41.8%で最も高く、次いで「一度もなかった」が35.4%となっている。



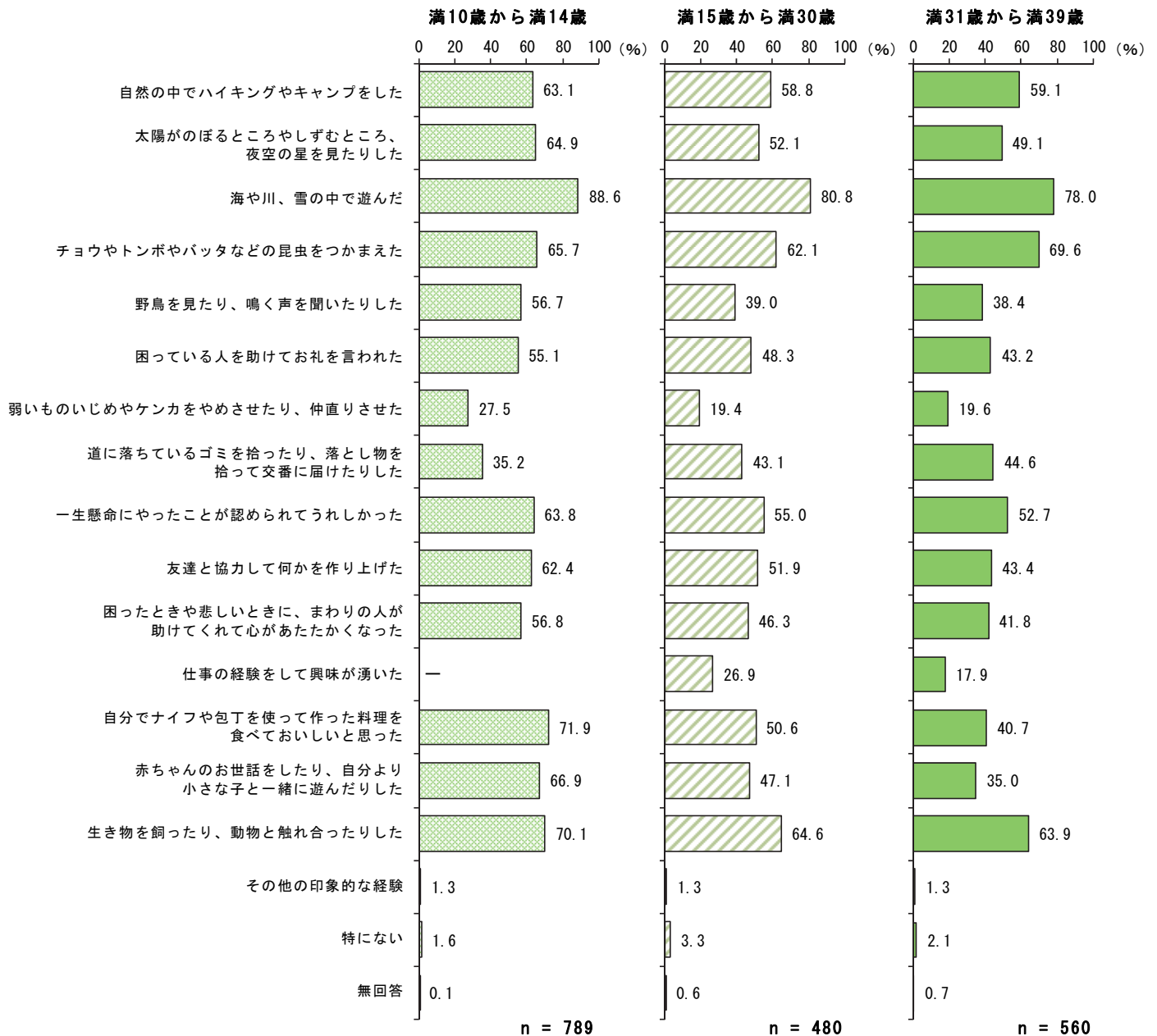
10. 子どもが「学校に行きたくない」と言った時の対応 【保護者等】

子どもが「学校に行きたくない」と言った時の対応は、「なぜ行きたくないのか理由を問いただした」が53.4%で最も高く、次いで「何とか行くように説得した」が42.8%、「とりあえずその日は休ませた」が36.7%、「学校に相談した」が34.1%と続いている。



11. いろいろな経験

いろいろな経験について、いずれの年齢も第1位が「海や川、雪の中で遊んだ」となっている。第2位はそれぞれ【満10歳から満14歳】では「自分でナイフや包丁を使って作った料理を食べておいしいと思った」、【満15歳から満30歳】では「生き物を飼ったり、動物と触れ合ったりした」、【満31歳から満39歳】では「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえた」となっている。



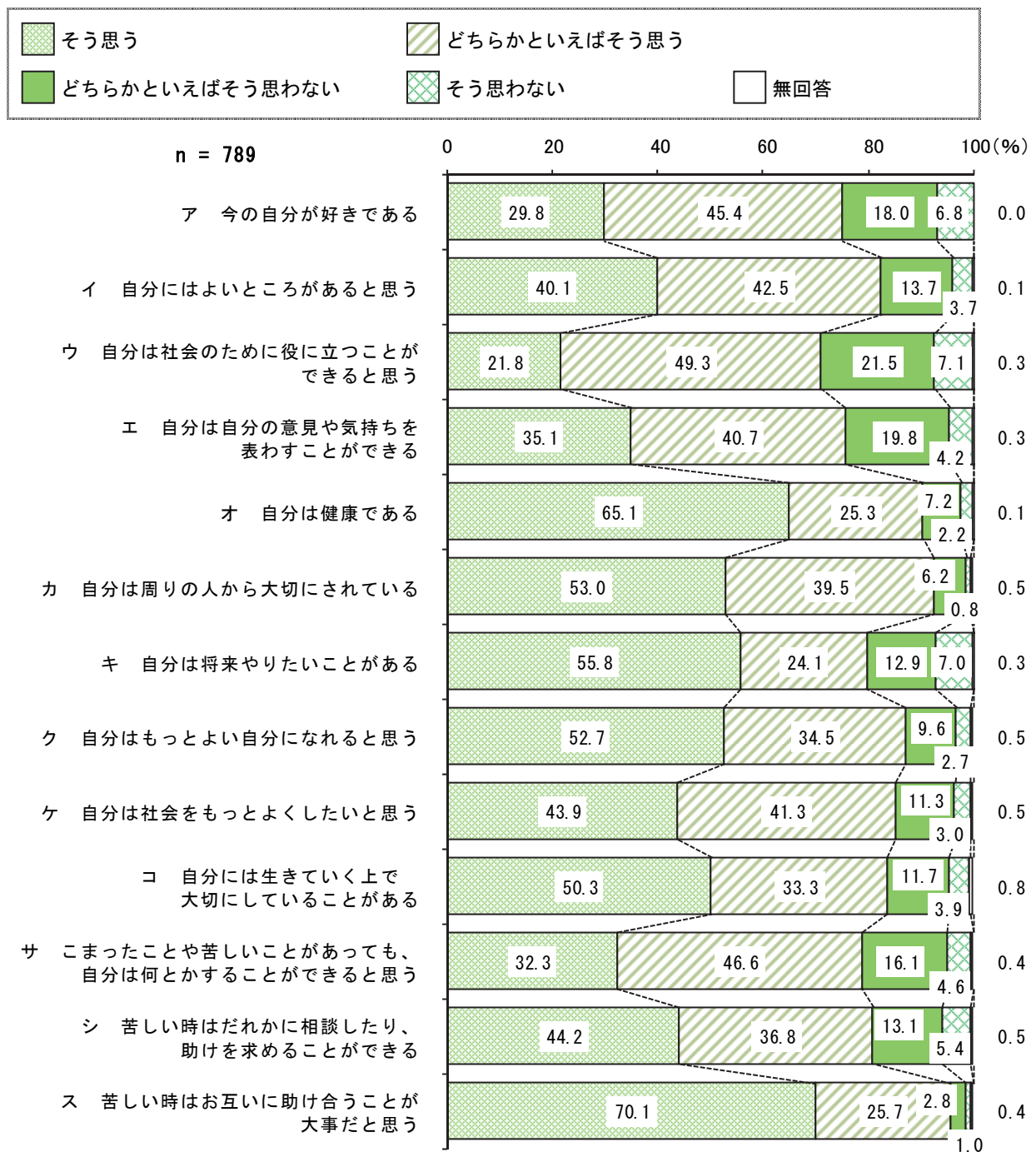
12. あなた自身のこと

【満10歳から満14歳】

あなた自身のことについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[ス 辛い時はお互いに助け合うことが大事だと思う]が95.8%で最も高く、次いで[カ 自分は周りの人から大切にされている]が92.5%、[オ 自分は健康である]が90.4%、[ク 自分はもっとよい自分になれると思う]が87.2%、[ケ 自分は社会をもっとよくしたいと思う]が85.2%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[ウ 自分は社会のために役に立つことができると思う]が28.6%で最も高く、次いで[ア 今の自分が好きである]が24.8%、[エ 自分は自分の意見や気持ちを表わすことができる]が24.0%、[サ こまったことや辛いことがあっても、自分は何とかすることができると思う]が20.7%と続いている。

あなた自身のこと【満10歳から満14歳】

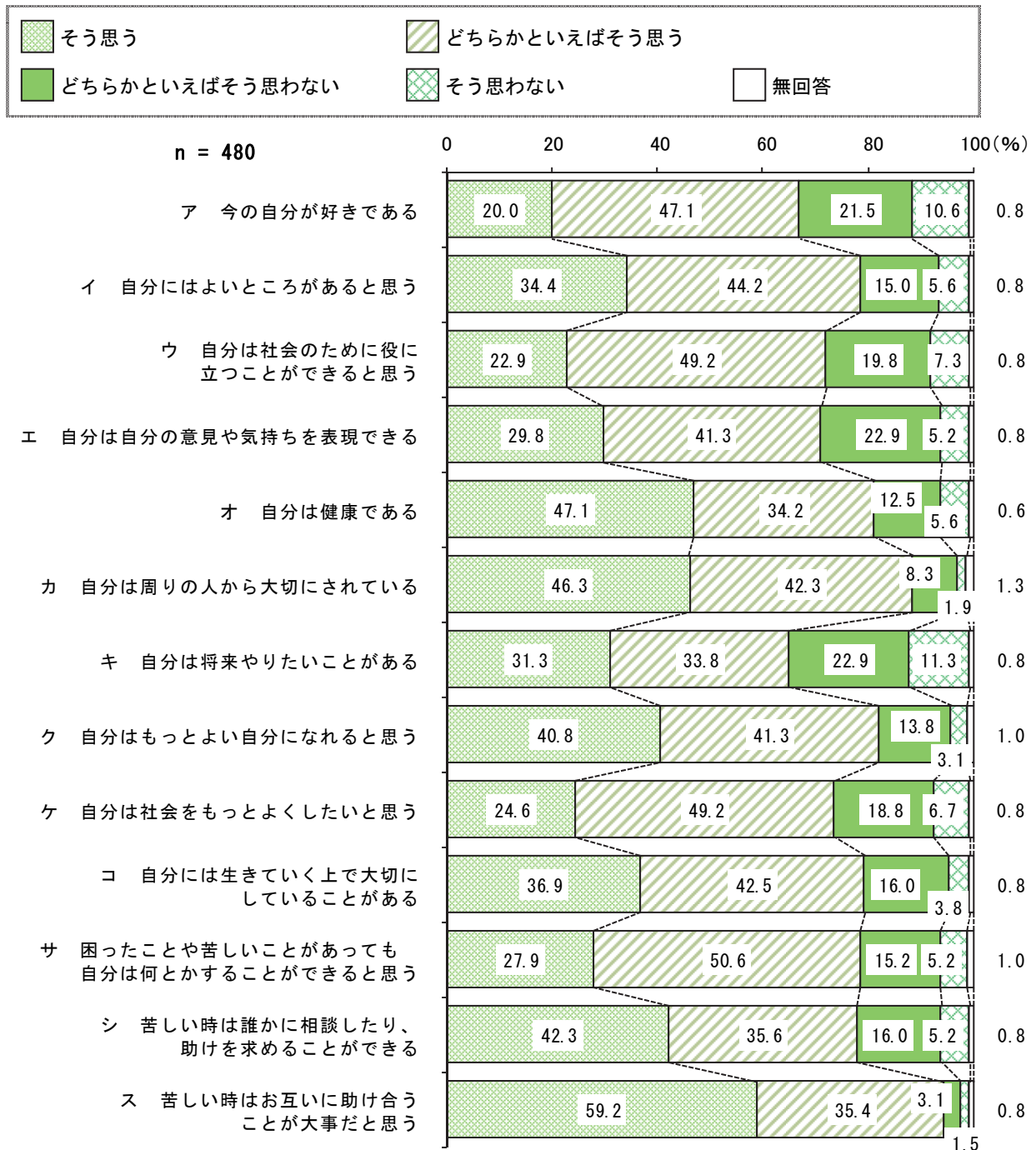


【満 15 歳から満 30 歳】

あなた自身のことについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[ス 苦しい時はお互いに助け合うことが大事だと思う]が94.6%で最も高く、次いで[カ 自分は周りの人から大切にされている]が88.6%、[ク 自分はもっとよい自分になれると思う]が82.1%、[オ 自分は健康である]が81.3%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[キ 自分は将来やりたいことがある]が34.2%で最も高く、次いで[ア 今の自分が好きである]が32.1%、[エ 自分は自分の意見や気持ちを表現できる]が28.1%、[ウ 自分は社会のために役に立つことができると思う]が27.1%、[ケ 自分は社会をもっとよくしたいと思う]が25.5%と続いている。

あなた自身のこと【満 15 歳から満 30 歳】

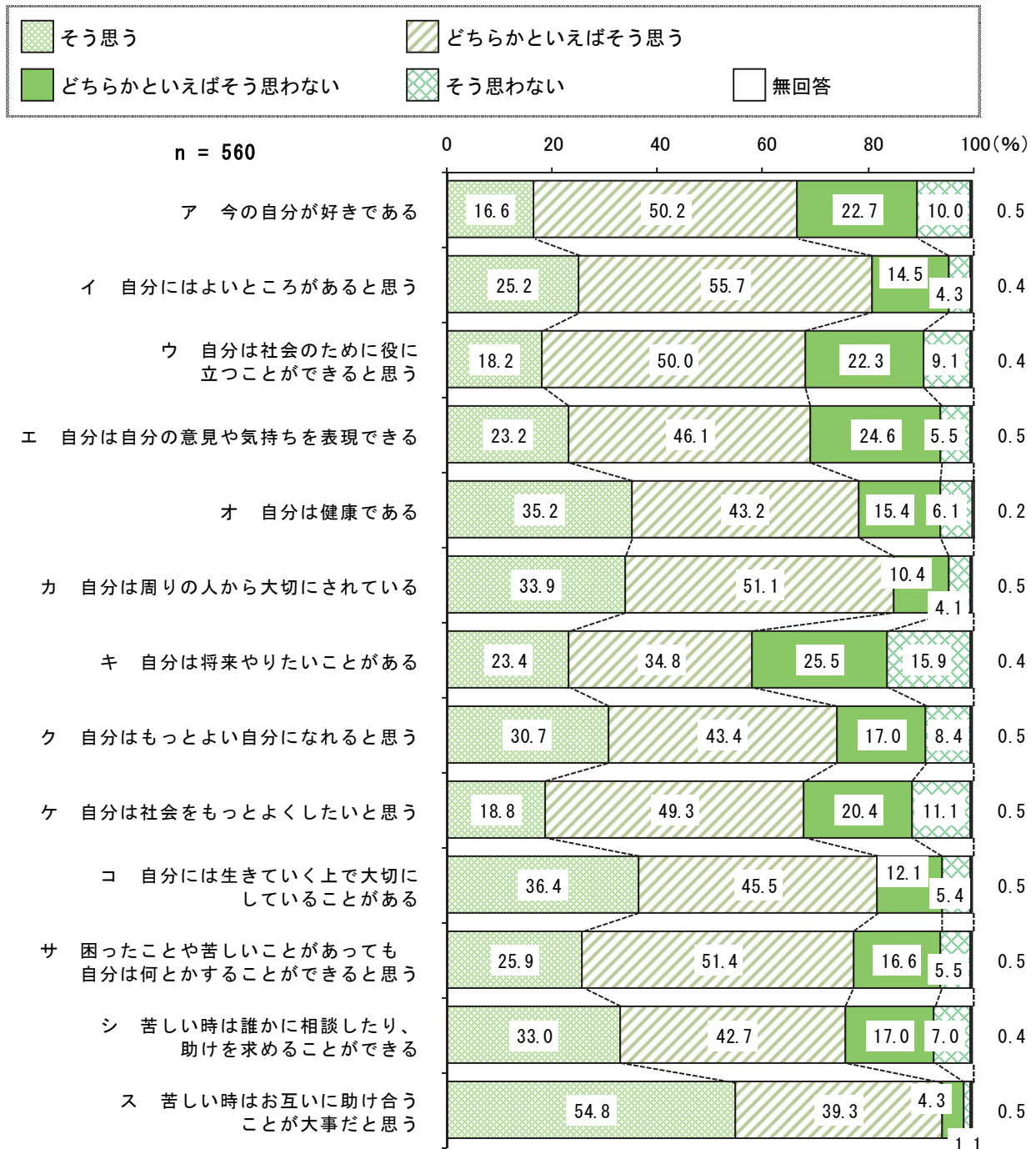


【満31歳から満39歳】

あなた自身のことについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[ス 苦しい時はお互いに助け合うことが大事だと思う]が94.1%で最も高く、次いで[カ 自分は周りの人から大切にされている]が85.0%、[コ 自分には生きていく上で大切にしていることがある]が81.9%、[イ 自分にはよいところがあると思う]が80.9%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[キ 自分は将来やりたいことがある]が41.4%で最も高く、次いで[ア 今の自分が好きである]が32.7%、[ケ 自分は社会をもっとよくしたいと思う]が31.5%、[ウ 自分は社会のために役に立つことができると思う]が31.4%、[エ 自分は自分の意見や気持ちを表現できる]が30.1%と続いている。

あなた自身のこと【満31歳から満39歳】



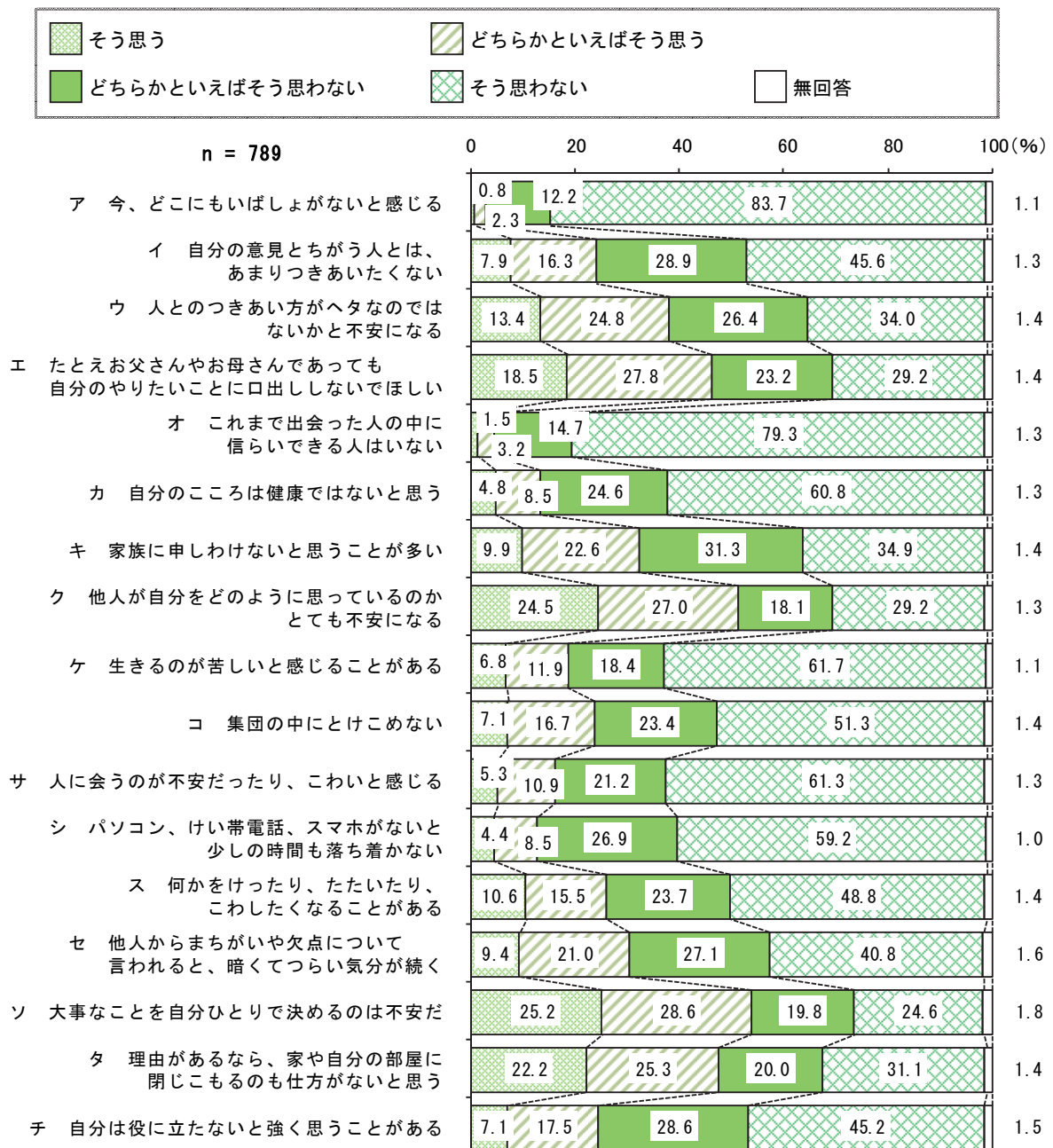
13. あなた自身に対して思うこと

【満10歳から満14歳】

あなた自身に対して思うことについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[ソ 大事なことを自分ひとりで決めるのは不安だ]が53.8%で最も高く、次いで[ク 他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる]が51.5%、[タ 理由があるなら、家や自分の部屋に閉じこもるのも仕方がないと思う]が47.5%、[エ たとえお父さんやお母さんであっても自分のやりたいことに口出ししないほしい]が46.3%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[ア 今、どこにもいばしょがないと感じる]が95.9%で最も高く、次いで[オ これまで出会った人の中に信らいてくれる人はいない]が94.0%、[シ パソコン、けい帯電話、スマホがないと少しの時間も落ち着かない]が86.1%、[カ 自分のここは健康ではないと思う]が85.4%、[サ 人に会うのが不安だったり、こわいと感じる]が82.5%、[ケ 生きるのが苦しいと感じることがある]が80.1%と続いている。

あなた自身に対して思うこと【満10歳から満14歳】

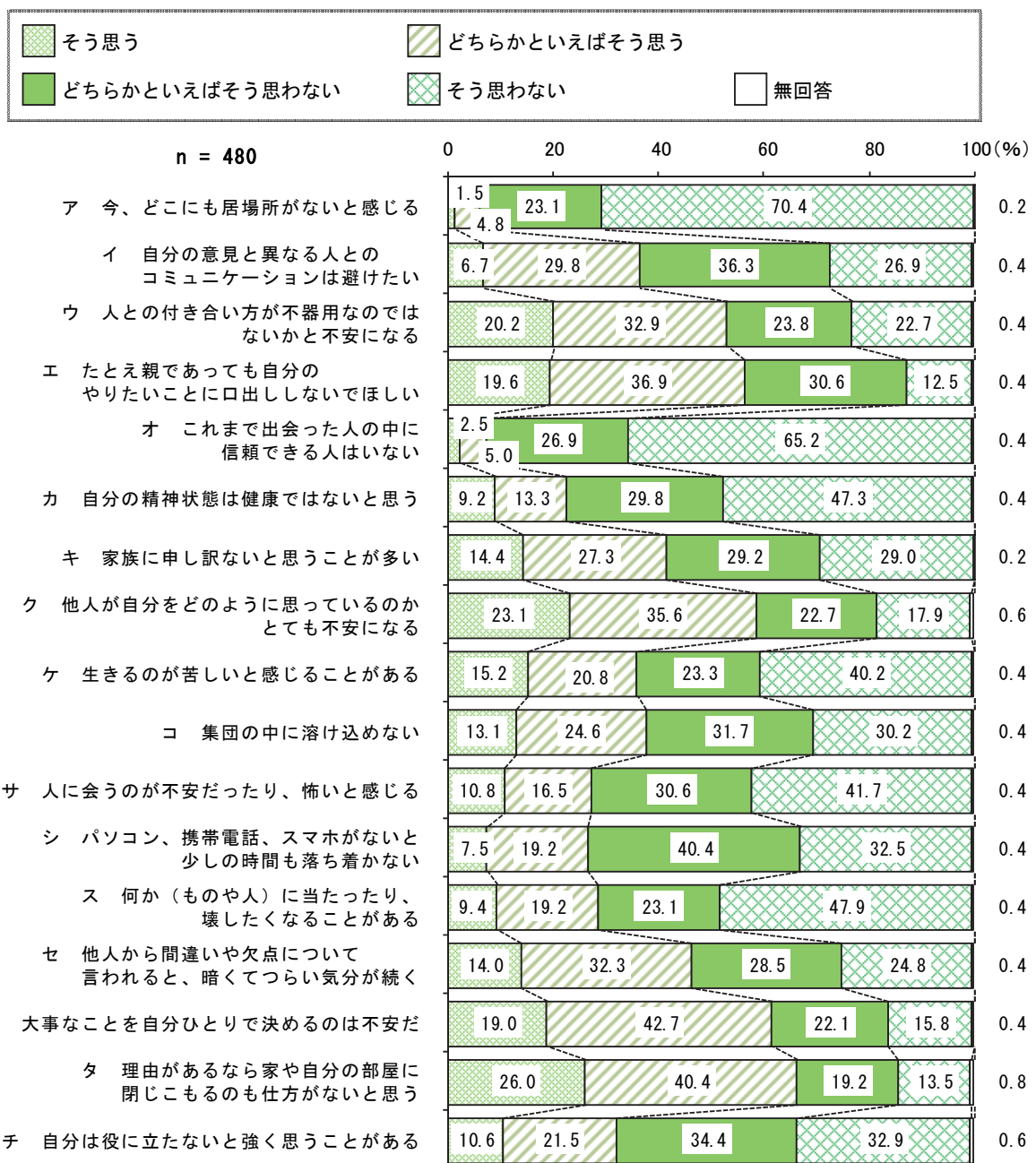


【満 15 歳から満 30 歳】

あなた自身に対して思うことについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[タ 理由があるなら家や自分の部屋に閉じこもるのも仕方がないと思う]が66.4%で最も高く、次いで[ソ 大事なことを自分ひとりで決めるのは不安だ]が61.7%、[ク 他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる]が58.7%、[エ たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないでほしい]が56.5%、[ウ 人との付き合い方が不器用なのではないかと不安になる]が53.1%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[ア 今、どこにも居場所がないと感じる]が93.5%で最も高く、次いで[オ これまで出会った人の中に信頼できる人はいない]が92.1%、[カ 自分の精神状態は健康ではないと思う]が77.1%、[シ パソコン、携帯電話、スマホがないと少しの時間も落ち着かない]が72.9%、[サ 人に会うのが不安だったり、怖いと感じる]が72.3%、[ス 何か(ものや人)に当たったり、壊したくなることもある]が71.0%と続いている。

あなた自身に対して思うこと【満 15 歳から満 30 歳】

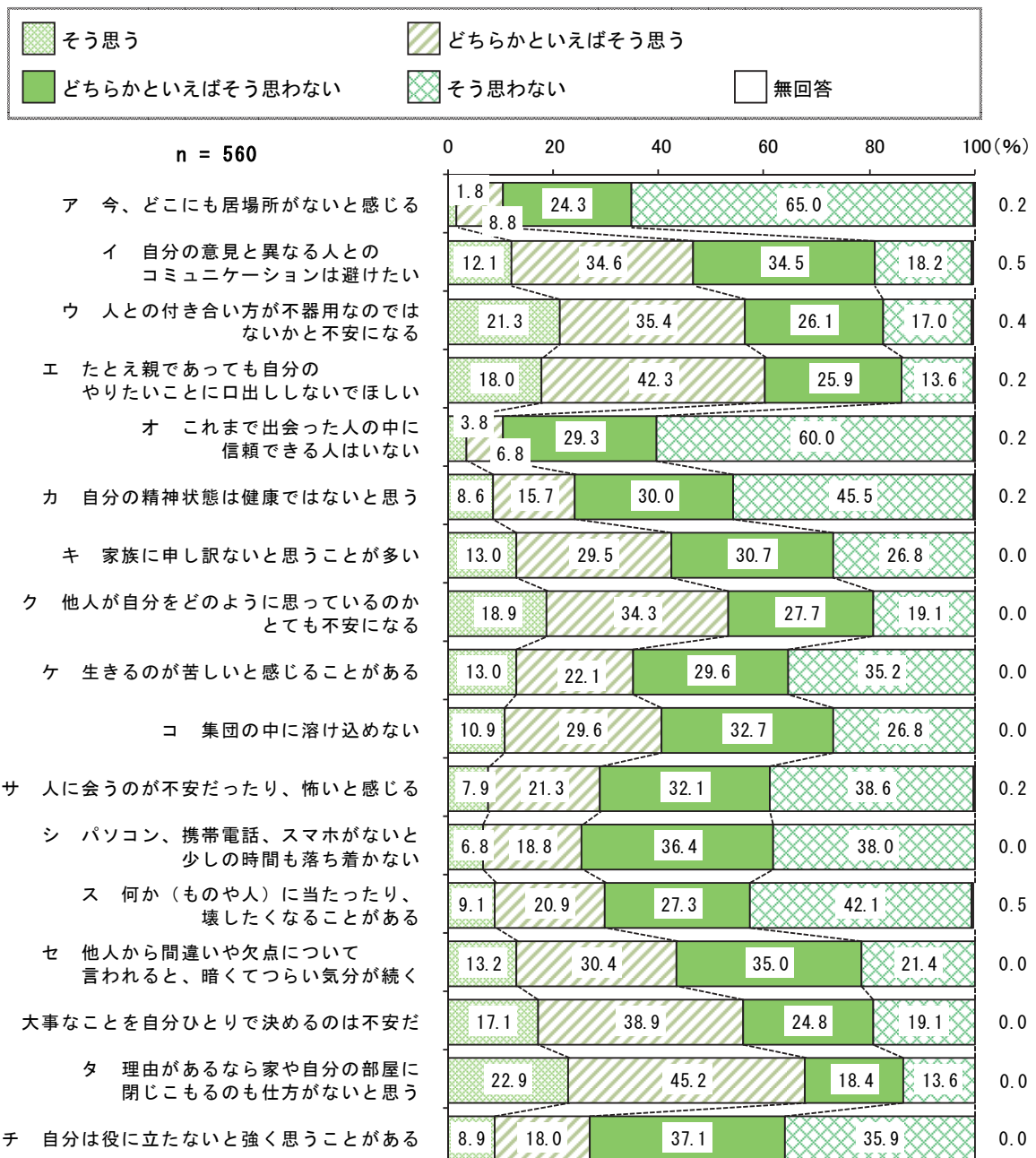


【満 31 歳から満 39 歳】

あなた自身に対して思うことについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は、[タ 理由があるなら家や自分の部屋に閉じこもるのも仕方がないと思う]が68.1%で最も高く、次いで[エ たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないでほしい]が60.3%、[ウ 人との付き合い方が不器用なのではないかと不安になる]が56.7%、[ソ 大事なことを自分ひとりで決めるのは不安だ]が56.0%、[ク 他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる]が53.2%と続いている。

一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は、[ア 今、どこにも居場所がないと感じる]及び[オ これまで出会った人の中に信頼できる人はいない]がともに89.3%で最も高く、次いで[カ 自分の精神状態は健康ではないと思う]が75.5%、[シ パソコン、携帯電話、スマホがないと少しの時間も落ち着かない]が74.4%、[チ 自分は役に立たないと強く思うことがある]が73.0%、[サ 人に会うのが不安だったり、怖いと感じる]が70.7%と続いている。

あなた自身に対して思うこと【満 31 歳から満 39 歳】



14. 現在困っていることや悩んでいること

現在困っていることや悩んでいることについて、【満10歳から満14歳】では「勉強や進学のこと」が47.1%で最も高くなっている。【満15歳から満30歳】及び【満31歳から満39歳】では「将来のこと」が最も高くなっている。

